

一般財団法人 地図情報センター  
平成26(2014)年度事業計画  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 調査研究（地図情報学の研究）

1-1 地図及び地図資料の情報化のための調査研究

当財団及び関連機関が保有する地理空間データを有効活用するため、学術研究を継続する。また、地図・地図資料の情報化に向けた調査研究を引き続き行う。

1-2 地図画像付きデータベースの総括

所蔵地図資料の画像付きデータベース化の継続と整備構築を行い、インターネットによるデータベースの提供を行う。なお、電子化されたデータの管理・調整・総括を継続する。

1-3 地域の変化に関する情報の研究

現行の地域の変化に関するデータベース「地域情報ニュース」を継続する。情報提供のシステム化とデータベースの充実を図る。

1-4 インターネット関連事業の充実

ホームページの一層の充実を図る。一般への地図・地図情報の知識の普及・啓発を図るため、コンテンツの充実を図り、これにより地図に関する様々な情報や会員獲得の入口（ポータル）としての役割をはたす。

1-5 研究のための関連内外学術団体・地図関連団体との連携協力

インターネットの相互リンクを始めとする地図情報のネットワーク化を図る。

1-6 実践マップスキル(MS)研究会

実践マップスキル研究会の事務局として、事業を円滑に実施していく。

1-7 受託事業の実施

地図・地理に関する受託事業を引き続き実施拡充する。

2. 地図・地図資料の普及・啓発

2-1 地図・地図資料の研究に関するセミナー、シンポジウム等の開催

「地図の話（仮）」夏～秋 予定 井田浩三氏に依頼予定（平日）

2-2 地図・地図資料に関する知識の普及活動

「地図情報」の発行

「ICICニュース」の発行

地図展への協賛（「身のまわりの環境地図作品展」多摩市、「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」鳥取県）全国の関係機関との連携を図り、普及・啓発活動並びに教育振興を拡充する。

2-3 地図・地図資料の普及・啓発のための巡検の開催

巡検を2回程度開催予定（葦山・三島（春）、秋未定）。

- 日本地図学会（東北大学（仙台））への参加
- 2-4 事業検討委員会での事業検討  
出版物の編纂（「世界の地図情報」、「地図情報ブックレット」など）  
補助事業の活用（日本財団等）
- 2-5 ホームページの活用  
Webの商用利用や会員確保に関する研究や事業を検討・実施する。

### 3. 地図資料室の運営

- 3-1 地図・地図資料の収集
- 3-2 地図・地図資料の管理
- 3-3 地図資料の提供  
原資料及び電子媒体(CD-ROM、電子出版、インターネット等)による学術団体、研究者、一般に対する情報提供。
- 3-4 所蔵目録の整備の継続
- 3-5 デジタルアーカイブの充実

### 4. 学術研究書、定期刊行物、二次資料等の刊行

- 4-1 研究成果の報告、発行及び電子媒体、インターネットによる提供
- 4-2 研究機関誌「地図情報」の刊行(年4回)34巻1~4号(通巻129~132号)
- 4-3 「地域情報ニュース」(AiN)の刊行(月刊)
- 4-4 ニュースレター「ICICニュース」の刊行(年4回)  
「ICICニュース」はインターネットでも提供している。
- 4-5 「世界の地図情報」の刊行(年1回)

### 5. 委員会等

- 5-1 常任理事会の開催
- 5-2 各委員会の開催
- ・編集委員会：「地図情報」の編集と会員増加策
  - ・行事委員会：巡検・見学会・セミナーの実施と参加者の拡充
  - ・経営・組織委員会：財政基盤強化、収入増加策の検討、人事の調整
  - ・事業委員会：既存事業の強化、新規事業の開発